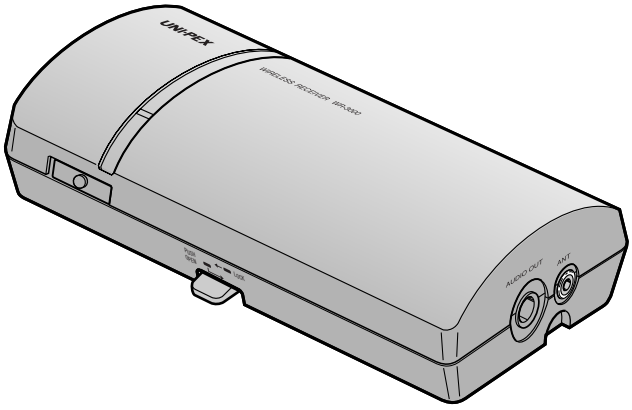
UNI-PEX

PLLシンセサイザー方式・300MHz帯・シングル

ワイヤレス受信機

取扱説明書

WR-3000



このたびは、ワイヤレス受信機をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

安全上のご注意〈必ずお守りください〉

●ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。

●お読みになったあとは、必ず保存してください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。

分解／改造はしない

火災の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災、誤動作の原因となります。ただちに電池を取り出し、販売店などにご連絡ください。

不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	異常に温度が高くなる場所に放置しない 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。各部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
	電池は極性(＋／－)を確かめ正しく入れる 電池を機器内に挿入する場合、極性表示に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	指定以外の電池は使用しない また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	1ヵ月以上使用しないときは、電池を取り出しておく 電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ホルダーについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についたときは水でよく洗い流してください。

使用上のお願い

■使用する電源は

・単三形乾電池3本、またはカーバッテリー(DC6V～32V)などが接続できる電源入力端子付です。

■マイクロホンは

・WM-3000シリーズ(別売品)をご使用ください。

■本機の設置場所は

・本機を使用する場合はワイヤレスマイクの移動する範囲内で本機が見える位置に設置してください。車載用として使用する場合はダッシュボードの上などに設置してください。

・近くに(30ｃｍ以内)電線や金属物などがあるところには設置しないでください。本機の受信感度が低下します。

・マイクの使用エリアを広くするときや、本機の設置場所が受信上、不利な場合には別売のワイヤレスアンテナ AA-3800、AA-3800Aをご利用ください。

・直射日光の当たる所や温風吹出口近くは避けてください。また、湿気・ほこりおよび振動の多い場所に設置すると故障の原因になることがあります。

■近くの妨害電波を避けて

・雑音電波を発生させる携帯電話や同じ周波数帯の高周波雑音の出る機器が近くにないことを確認してください。やむをえず雑音源の近くでご使用になる場合は、ワイヤレスマイクと本機の距離は約2m～10mの距離でご使用ください。尚、使用範囲(最大／最小)距離はワイヤレスマイク、アンテナの取扱説明書もご覧ください。

■電源ON／OFF時に発生するノイズを低減するには

・電灯器具など、電気機器の電源を「入／切」した際に発生するノイズの影響で、ワイヤレス受信機から大きなノイズ音が発生する場合があります。このような場合は、ノイズ源(電源スイッチで電源をON／OFFする機器や電源用のケーブル)から本機を遠ざけてください。

■お手入れについて

・電源を切り、乾いた布で拭いてください。ほこりが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤をやわらかい布に浸み込ませ、よくしぼり軽く拭いてください。

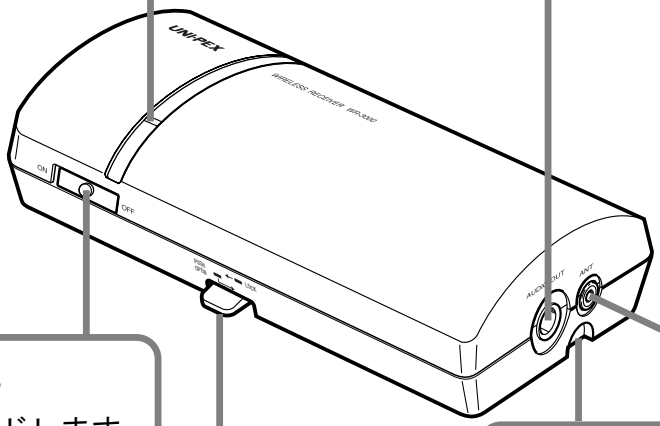
・ベンジン、シンナーなど揮発性ものを使用しますと変質したりすることがありますので避けてください。また、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■マイクロホンなどの取扱説明書も合わせてご覧ください。

各部の名称と説明

電源／受信表示灯
電源が入りますと赤色に点灯します。
電波受信時は緑色に点灯し、受信していないときは赤色に点灯します。

音声出力ジャック
（－20dBV／－60dBV　600Ω　平衡）
付属の接続コードを使用し、アンプのライン入力ジャック、またはマイク入力ジャックに接続してください。



ワイヤレスアンテナ接続ピンジャック
別売のワイヤレスアンテナAA-3800、AA-3800Aを接続しますと、マイクの使用エリアを広くできます。

電源スイッチ
「ON」側にスライドしますと電源が入り、電源表示灯が赤色に点灯します。使用しないときは「OFF」側にして電源を切ってください。

電源コード引出し部(2ケ所)
DC電源を電源入力端子に接続する場合に、電源コードを通してください。
「電源入力端子」の説明をご覧ください。

電池ふたロック解除ボタン
電池の出し入れや周波数の設定、出力レベルの切換をおこなうときは、
このボタンを押して次の説明に従って底面の電池ふたを開けてください。

■電池ふたの開けかた
①電池ふた解除ボタンを矢印Aの方向に押さえながら、電池ふたを矢印Bの方向にスライドする
②電池ふた解除ボタンを矢印Cの方向に上げ、電池ふたを図 2の点線部分の方向にあける
（図 1、2、3 参照）

図 1

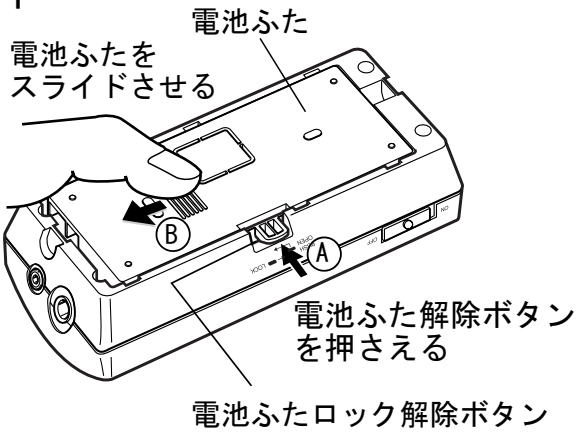
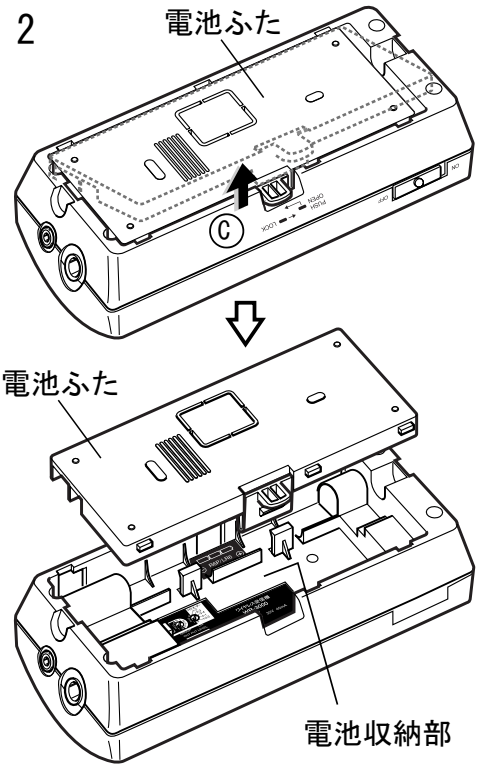


図 2



各部の名称と説明(電池収納部)

電池収納部(極性表示)

本機に使用する電池は単三形乾電池3本です。乾電池を交換、または入れるときは次の説明に従っておこなってください。

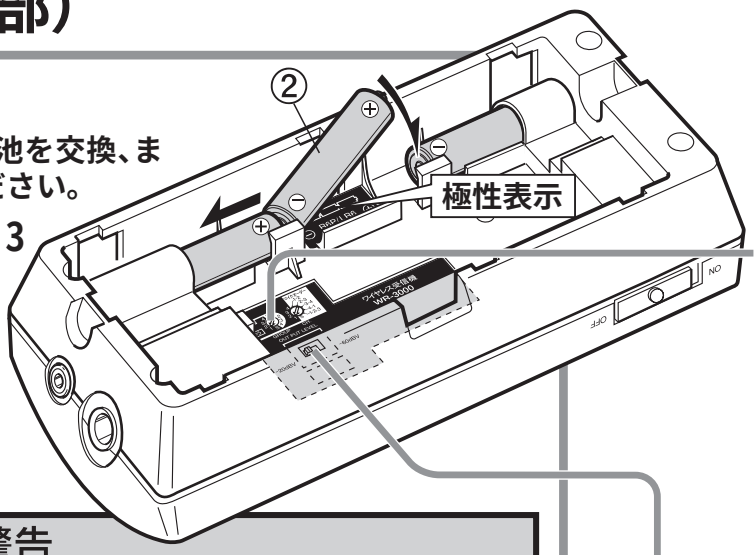


図 3

■電池の入れかた

① 2本の乾電池を極性表示に合わせ、電池収納部両端に入れる

② 残りの1本の乾電池を㊀極部分から入れ、先に入れた乾電池を押し込みながら㊉極部分を入れる(図 3参照)

●使用電池についてのご注意

- 充電式電池(ニカド電池、ニッケル水素電池等)のご使用は機器の正常な動作を保証出来ませんので、ご使用はお控えください。
- ご使用頂けます電池は、マンガン乾電池(黒・赤)またはアルカリ乾電池です。

⚠警告

◎電池は、極性表示に従い正しく入れる

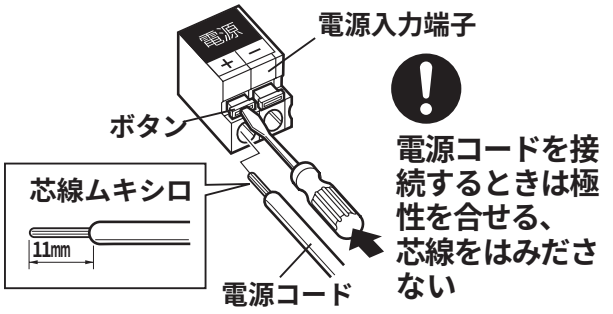
- 誤挿入による液漏れや破裂でけがをする場合があります。
- 特にアルカリ乾電池をご使用の場合は液漏れにより、化学やけどの原因となることがあります。

電源入力端子

カーバッテリー(DC6V～32V)などから電源を取る場合は、この端子に接続してください。

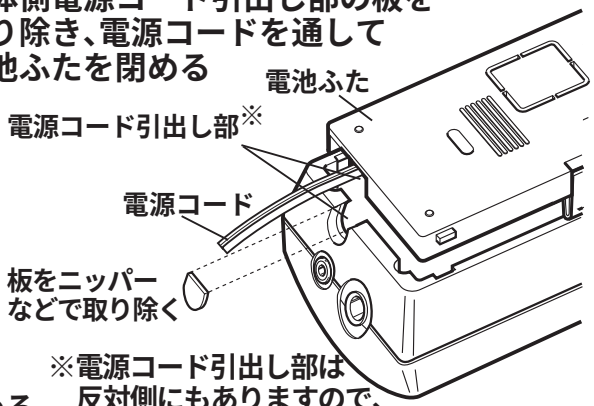
■接続のしかた

① 端子のボタンを小型ドライバーなどで押しながら、電源コードを接続する



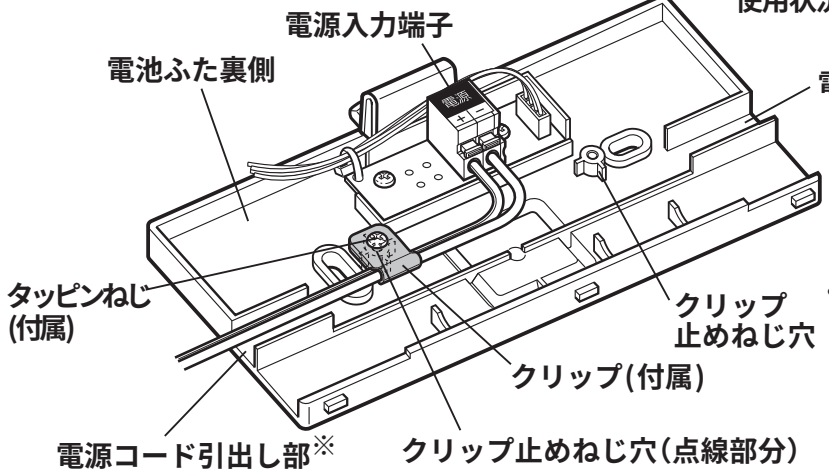
電源コードを接続するときは極性を合せる、芯線をはみださない

③ 本体側電源コード引出し部の板を取り除き、電源コードを通して電池ふたを閉める



※電源コード引出し部は反対側にもありますので、使用状況に応じてご利用ください。

② 接続した電源コードを付属のクリップで止める

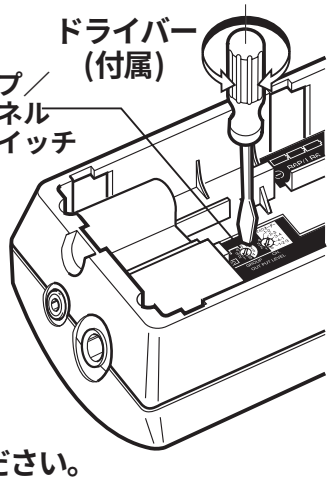


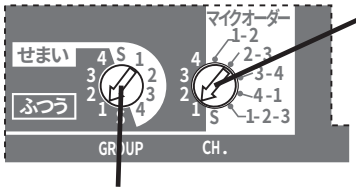
- カーバッテリーから電源をとる場合は、断面積0.85㎟～1.25㎟のAV線を使用する。また㊉側コードにはヒューズ(1A)を取り付ける

グループ／チャンネル設定スイッチ

付属の設定用ドライバーで使用するワイヤレスマイクと同じグループ／チャンネル番号（受信周波数）に設定してください。（図 4参照）

図 4





チャンネル(CH)設定スイッチ

使用するワイヤレスマイクのチャンネル番号と同じ数字に設定してください。(周波数設定のしかたを参照)

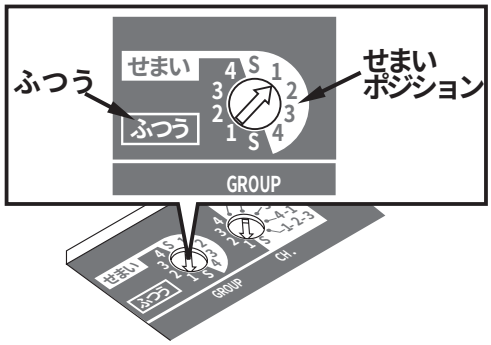
グループ(GROUP)設定スイッチ

使用するワイヤレスマイクのグループ番号と同じ数字に設定してください。(周波数設定のしかたを参照)

「せまい」ポジションについて

◆グループ設定スイッチを「せまい」側でグループ番号を設定する場合。

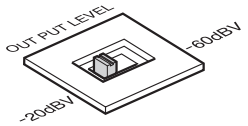
・本機を使用中に、近隣で使用するワイヤレスマイクが混信するとき、または混信の恐れがあるときに設定してください。受信感度を抑え、混信を防ぐことができます。



出力レベル切換スイッチ

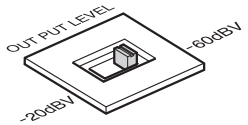
本機の音声出力ジャックを接続する機器の入力端子に合せて出力レベルを切り換えてください。

●－20dBV（出荷時）に設定時



ライン入力端子と接続する場合など

●－60dBVに設定時



マイク入力端子と接続する場合など

注）接続する機器の入力感度レベルを必ず確認してください。

取付穴

本機を壁面などに取り付けるためのねじ穴です。

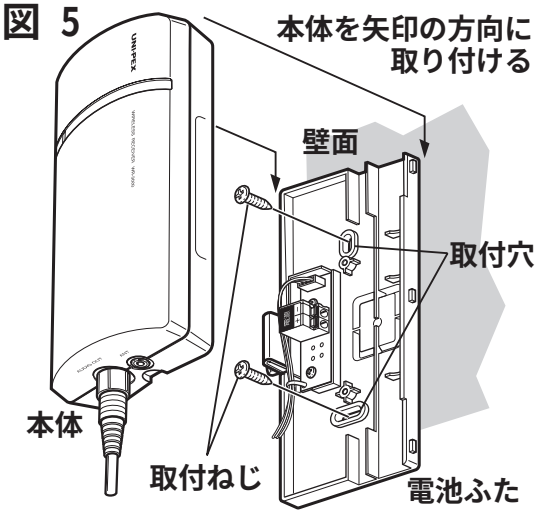
■取り付けかた

・取付穴にねじを入れ、電池ふたを固定します。固定した電池ふたに本体をはめ込み、下向きにスライドさせロック状態にしてください。（図5参照）

・必ず本体を上向きに持ち上げて、ロック状態を確認してください。

・取外しは電池ふたロック解除ボタンを押しながら本体を上向きにスライドさせ、手前に引いてください。

図 5



注）電池ふたを閉めるときは、電池ふたと本体間のコードをはさみこまないように注意してください。

周波数設定のしかた

●グループ／チャンネル設定スイッチを切り換える場合は電池ふたをはずし、付属の設定用ドライバーを使用し、スイッチを回転させてください。(図6/7参照)

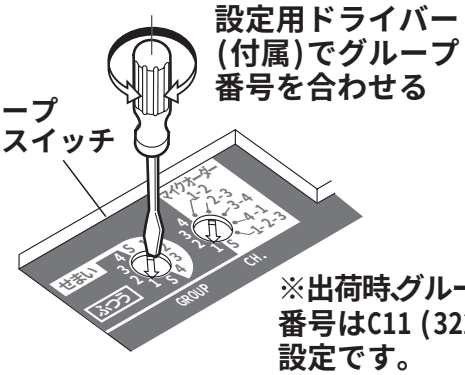
1.グループ番号を設定する

グループ(GROUP)設定スイッチの矢印を設定したいグループ番号(1／2／3／4)に合わせます。(図6参照)

2.チャンネル番号を設定する

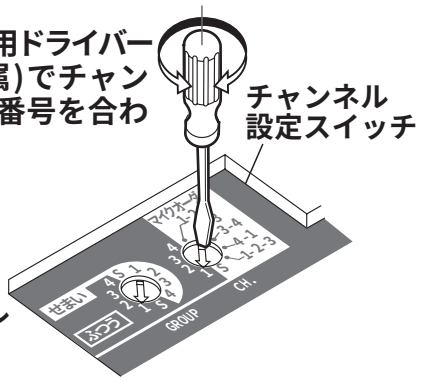
次にチャンネル(CH)設定スイッチの矢印を設定したいチャンネル番号に合わせます。(図7参照)

図 6



※出荷時、グループ/チャンネル番号はC11 (322.050MHz)の設定です。

図 7



ご注意

●本機とワイヤレスマイクは同じ周波数(グループ/チャンネル)に設定してください。
◎下記の受信周波数表にないグループ、チャンネルに設定しますと、受信表示灯が早く点滅します。電源スイッチを切り、再度周波数設定をおこなってください。

300MHz帯ワイヤレスシステムについて

■グループについて

●同一場所で本機を複数台使用する場合、または他の300MHz帯ワイヤレスシステムと共に使用する場合は、全て同じグループにして、全て違うチャンネルに設定してください。

・グループ1～3の中から1つのグループを選びますと、最大4波まで使用できます。

・グループ4は1波使用できます。

●受信周波数表

周波数(MHz)	グループ／チャンネル番号			
	グループ	グループ	グループ	グループ
322.025			C31	
322.050	C11			
322.075		C21		
322.100	C12			
322.125		C22		
322.150			C32	
322.250	C13			
322.275		C23		
322.300				C41
322.325			C33	
322.350	C14			
322.375		C24		
322.400			C34	

■チャンネル呼称について

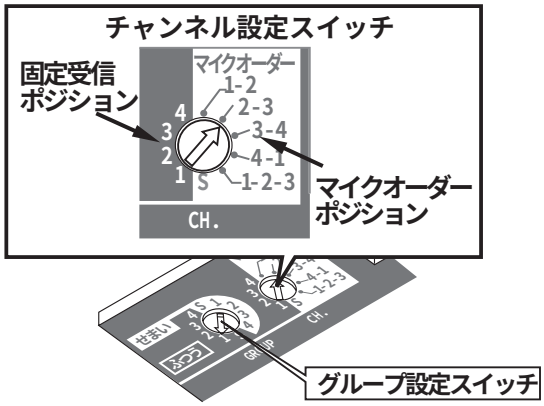
例　C　1　3

ⓐ　ⓑ　ⓒ

ⓐ ……300MHz帯を表わす
ⓑ ……グループ(GROUP)番号を表わす
ⓒ ……グループ内のチャンネル(CH)番号を表わす

マイクオーダーについて

●本機は異なったチャンネルのマイクを順序良く選択して、受信できる「マイクオーダー」を搭載しています。



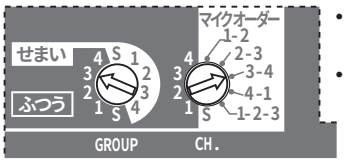
◆マイクオーダーのチャンネル組合せ表

グループ設定スイッチ / チャンネル設定スイッチ		1	2	3
マイクオーダーポジション	1-2	C11 C12	C21 C22	C31 C32
	2-3	C12 C13	C22 C23	C32 C33
	3-4	C13 C14	C23 C24	C33 C34
	1-4	C11 C14	C21 C24	C31 C34
	1-2-3	C11 C12 C13	C21 C22 C23	C31 C32 C33
	S	C11 C12 C13 C14	C21 C22 C23 C24	C31 C32 C33 C34

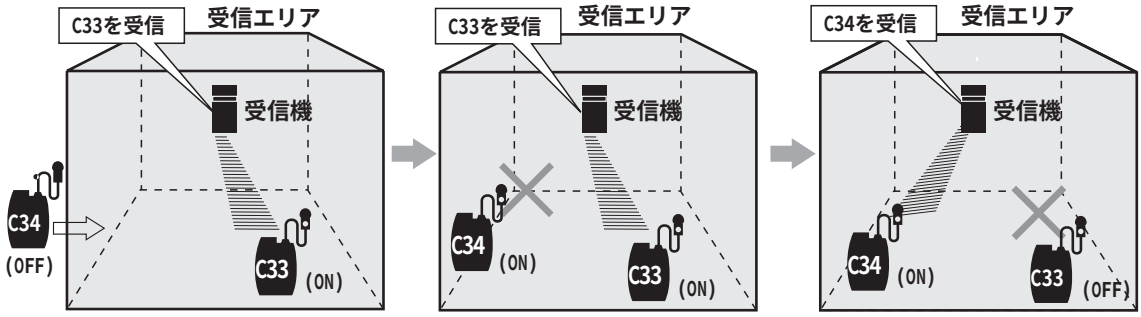
◆「マイクオーダーポジション」とは ？

- チャンネル設定スイッチをマイクオーダーポジションに設定しますと、グループ内の複数(2〜4)チャンネルのワイヤレスマイクを受信することができます。
- 最大4チャンネルの受信が可能ですが、最初に使用（電源スイッチ「ON」）したワイヤレスマイクのチャンネルを優先し、受信します。
- 受信中マイクの使用が終わり（電源スイッチ「OFF」）次第、マイクオーダーポジションで設定されたチャンネルのマイクが受信可能になります。
- 受信可能なチャンネルの組み合わせは上記のマイクオーダーのチャンネル組合せ表をご覧ください。またグループの設定は「1／2／3」のいずれかに設定してください。「4／S」には設定しないでください。

マイクオーダー運用例



・グループスイッチの設定……3
（または1，2 のいずれか）
・チャンネルスイッチの設定……3-4
（または1-2,2-3,1-4,Sのいずれか）



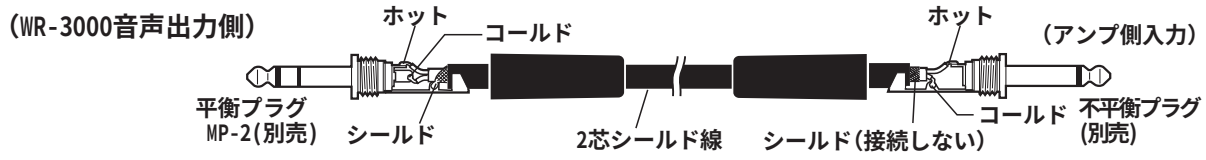
① ワイヤレスマイク(C33)を受信中

② ワイヤレスマイク(C33)を受信中
ワイヤレスマイク(C34)は使用不可

③ ワイヤレスマイク(C33)は使用終了
ワイヤレスマイク(C34)を使用すると受信開始

◆雑音対策について（ワイヤレスマイク受信以外の原因によるもの）

・本機使用中に雑音が発生する場合は、本機の音声出力ジャックとアンプの入力ジャックを下図の接続コードを使用し接続しますと、雑音が止まる場合があります。それでも雑音が止まらない場合は販売店にご相談ください。

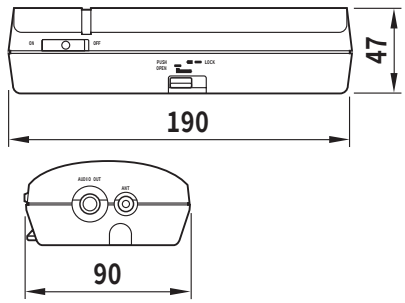


定格

使用乾電池(電源)	単三形乾電池 R6PU(黒)3個(DC 4.5V)
外部電源	DC 6V～32V
消費電流	40mA以下
電池持続時間	約30時間（常温連続使用にて）
受信周波数	322.025MHz～322.150MHz、322.250MHz～322.400MHz (25 kHz間隔 13波)
受信方式	PLL制御スーパーヘテロダイン方式
受信感度	23dBμV
受信表示	2色発光ダイオード 待機時 (赤)、 受信時 (緑)
定格出力	−20dBV / −60dBV 切換式 600Ω 平衡
ひずみ率	3%
周波数特性	50Hz～7kHz(50μs ディエンファシス)
使用温度範囲	0℃～40℃
外装	ケース：ABS樹脂 マンセル N 3 近似色 ダークグレー
寸法／質量	幅90mm、高さ190mm、奥行47mm ／ 約 280g（乾電池を除く）
付属品	取扱説明書 1、設定用ドライバー 1、R6PU(単三形)乾電池 3、ナイロンクリップ 1、 2極大形単頭プラグ付コード(1m) 1、タッピンねじ(φ3×10) 1

外観寸法図

(単位:mm)



製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペックス株式会社

RKTWR3000-H0-A